

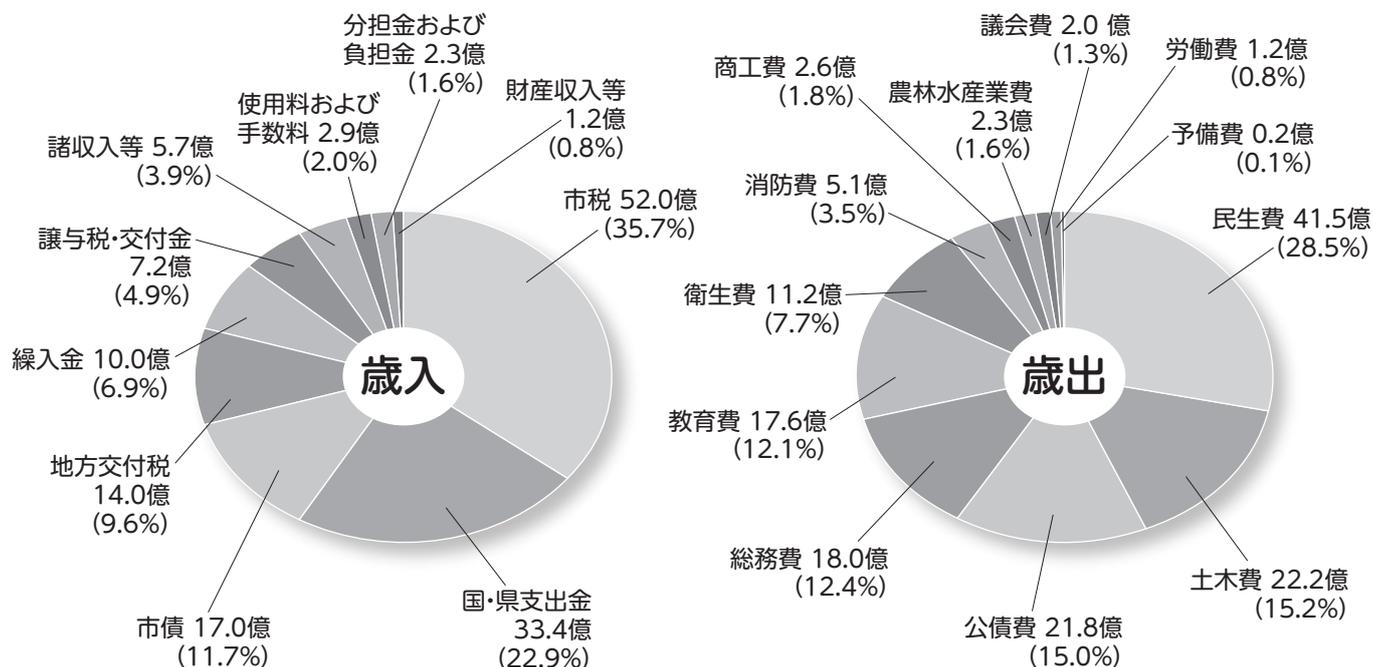
# 平成28年度 予算案を審査

|      |               |              |
|------|---------------|--------------|
| 一般会計 | 145億7,291万4千円 |              |
| 特別会計 | 国民健康保険        | 44億2,774万円   |
|      | 漁業集落排水        | 3,184万6千円    |
|      | 農業集落排水        | 4,835万9千円    |
|      | 港湾施設管理受託      | 4,932万6千円    |
|      | 土地造成          | 3億3,010万6千円  |
|      | 介護保険          | 26億7,261万4千円 |
|      | 後期高齢者医療       | 4億3,296万8千円  |
|      | 合計            | 79億9,295万9千円 |
| 企業会計 | 水道事業          | 7億1,231万2千円  |
|      | 工業用水道事業       | 10億3,323万7千円 |
|      | 公共下水道事業       | 16億7,229万1千円 |
|      | 合計            | 34億1,784万円   |
| 総額   | 259億8,371万3千円 |              |

3月定例会において提案された、平成28年度各会計予算は、3日間(3月14日～3月16日)にわたり予算特別委員会において慎重に審査した結果、総額259億8,371万3千円(企業会計を含む)を可決しました。

平成28年度の主要事業と、審査における質疑及び答弁の一部をご紹介します。

## 一般会計当初予算内訳(総額145.7億円)



# 主要事業の一部



新規

## 空家対策事業 (3,872千円)

空家等対策の推進に関する特別措置法の制定に対応するため協議会を設置し、空家等対策計画を作成する事業。

新規

## 商店街等振興奨励事業 (1,000千円)

平成27年度に大竹市商店街連合会に委託して実施した地方創生商店活性化事業「ワークショップ」で出たアイデアや意見を参考にして、大竹市商店街連合会、大竹商工会議所等と連携して商工振興策を展開する事業

拡充

## こども医療費助成事業 (79,345千円)

乳幼児等医療費の自己負担額に対する一部助成対象の年齢を、中学生相当の年齢に達した者までに拡充すると共に、全対象世帯の所得制限を撤廃します。受給者証の名称は、「こども医療費受給者証」に変わります。



新規

## あたたかあたたか基金事業 (24,717千円)

駐留軍等の再編の影響を受ける地区(阿多田島)住民に対する支援を行います。地元郵便局窓口においての住民票等各種公的証明書の交付事業、妊産婦への妊婦健康診査や出産の際の交通費(船賃)の助成事業、高校生のフェリー代相当額の助成事業、高齢者へのフェリー一代の助成事業など



新規

## ふるさと納税促進事業 (10,000千円)

寄附(ふるさと納税)の促進や市のPRを目的に、一定額以上の寄附者に対して、市の特産品を返礼品として贈呈します。



阿多田島近海で獲れたカタクチイワシのイリコ(特産品の一例)

新規

## 浸水対策事業(立戸地区) (2,500千円)

立戸地区内の浸水による被害の縮小を図るため、雨水排水施設の整備について、調査設計を行う事業。

予算特別委員会での  
質疑・答弁

●小方橋北詰交差点の  
渋滞について

Q 小方橋北詰交差点の信号は歩車分離型で大変渋滞している。交通安全の観点から仕方ないことだと思いが、どのように考えているのか。

A 平成27年5月中旬頃に警察が信号の時間を調整したと聞いている。安全になったという声もある。通学時間だけ歩車分離にならないか聞いてみたが難しいということだった。



小方橋北詰交差点

●市の福祉に関する  
取り組みについて

Q 障がいのある子の親にとつて、子供の将来が心配である。グループホームを作るなど、市と社会福祉協議会が一体となった取り組みはできないか。また、さつき作業所の雨漏りや、耐震改修など、福祉に対する考えを問う。

A さつき作業所の問題やグループホームのことを含め地域生活支援拠点をどうしていくかについて、地域自立支援協議会の地域生活部会これから当事者や関係者で協議していく。

●こども医療費助成の  
拡充について

Q こども医療費助成の中学生までへの拡充について、一部負担有りと無しの差額は、また一部負担有りにした経緯を問う。

A 中学生まで一部負担有りの場合は追加費用1,100万円程度、完全無料の場合は4,200万円程度となり、差は3,100万円である。無料にすると受診回数が増加する懸念もある。

●ごみの広域処理について

Q 廿日市市との可燃ごみ広域処理について、経費の面からみれば中継施設を作らずに、パッカー車で直接、廿日市市に搬入するほうが良いのではないか。

A そうすると大竹市の2トンパッカー車約15台で廿日市市へ搬入することになる。廿日市の市民感情に配慮し10トンのパッカー車で1日3回程度の搬入とした。

●御園6号棟の建設について

Q 高さを考慮すると冬至の日には日が当たらない部屋もある。土砂災害は対策を行うが、日照は考慮されていない。なぜ急いで条件の悪い場所に建設するのか。

A 過去の住宅計画から、この場所ということで準備を進めてきた。入居者へのアンケートでは77%の方が6号棟への入居を希望されている。入居されないようならば、使い方を工夫する。

●阿多田防災コミュニティ  
グラウンド整備工事について

Q 阿多田防災コミュニティグラウンド整備工事とは。以前計画していた阿多田外深浦地区防災公園はどうするのかを問う。

A これは旧阿多田小学校グラウンドを災害時の一次避難場所に整備するもの。平常時は住民のコミュニティグラウンドとしてスポーツやレクリエーションにも使える。外深浦地区については休止中であるが、防衛局と中止に向けて協議をしている。

●市立中学校の  
推薦基準について

Q 市立中学校の高校への推薦基準は、また、中学1年生、2年生時の問題は関係するのかを問う。

A 学校によって違いはあるが、基本的には『社会のルールが守れる。学力面においてある程度の力を有している』との基準がある。3中学校とも中学1、2年生時の問題は推薦の基準にしておらず、3年生時の問題のみ推薦にとりあげる。

●あたたハマチおレモンについて

Q あたたハマチおレモン事業をどれくらいまで全国に広げていくのか、また事業として成立するのか。



A あたたハマチおレモンは、各方面からおいしいと評価をいただいているが、現況は、補助事業であり、平成28年度からは生産者の事業として成立するよう考えている。

行政としては、大量消費につながるよう例えば給食で利用する等考えている。

●市指定給水装置工事事業者の登録について

Q 市指定給水装置工事事業者は98社ある。工事店の所在地は大阪や横浜も含まれているがなぜか。

A 事業者の指定要件に、営業所の所在地は含まれていない。新築工事等の際に登録する市外業者が多い。

●防鹿地区の

下水道工事について

Q 防鹿地区において下水道工事が進められており、平成30年度完了と聞くが、進捗状況を問う。

A 概ね順調に進んでいる。防鹿地区が完成すれば、下水道計画区域において整備が終わる。

●ふるさと納税について

Q ふるさと納税の取り組みについて理念をもって集めるという考え方を研究したのかを問う。

A 返礼品でふるさと納税を募ることとはしてこなかった。このたび地方創生事業推進の財源として、また返礼品により市内産業の振興を図り、市の魅力を発信するという思いで、ふるさと納税返礼品の取り組みを進めることとした。



栗谷産ヒノヒカリ (特産品の一例)

委員会での討論

一般会計

【反対討論】

○全体的に厳しい中での予算であると理解はしているが、一般会計が関連した事業で、係争中の件もあり、反対せざるを得ない

【賛成討論】

○「行政財運営に関しての、しっかりとした心構えや、人事評価制度等に対する決意についても、しっかりと果してもらえると感じ賛成」

土地造成特別会計

【反対討論】

○「一般会計での反対討論と同様の理由により反対」

【賛成討論】

○「小方ヶ丘の日常の生活の中で、ストック効果、成果が順調に育つことを期待して賛成」

※委員会での採決の結果、

全会計とも原案のとおり可決



本会議での討論

【反対討論】

○「大願寺公募売却で業者の意向を受け公募期間中に募集要項の変更をしたと本会議で市長が認めた。土地会計と一般会計に反対。大竹小卒業式別れの言葉「マジ、ガチ」を見習うべき」

【賛成討論】

○「第5次総合計画にあげる笑顔元氣輝く大竹を目指して、地方創生事業を推進する計画も盛り込まれている予算である。土地造成会計に関しては住宅地もほぼ完売し大成功だ」

本会議での採決の結果

全会計とも原案のとおり可決

予算特別委員

委員長  
副委員長  
委員

山崎年一 網谷芳一 末田和弘 大井芳馨 藤井公章 寺岡実穂 大井公章 井田芳馨 和井芳馨 末田和弘 大井芳馨 藤井公章 寺岡実穂